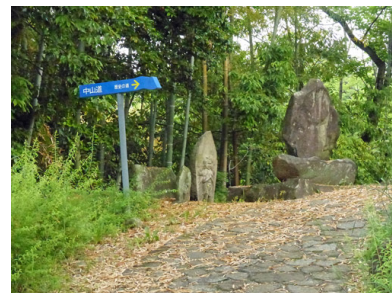
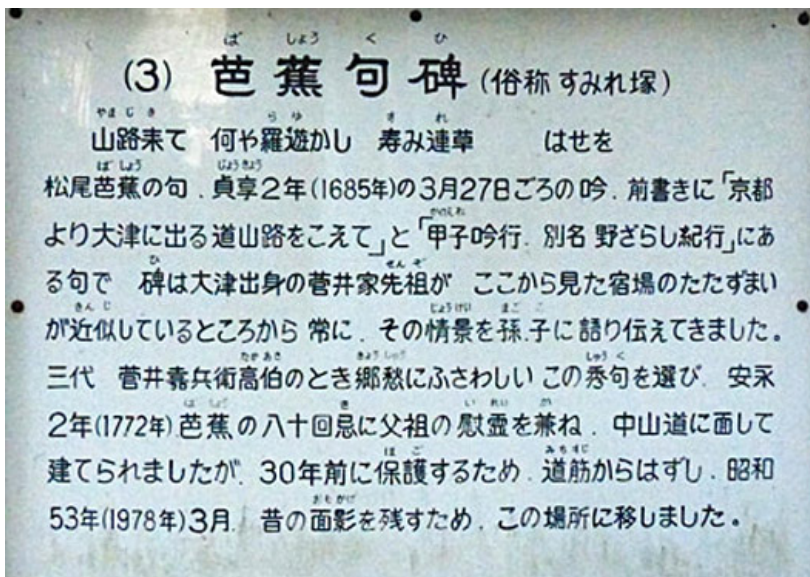


江戸時代、中津川村の支村、上金。家数 18 戸、人口 85 人。

民家は、街道左右に散在し、多くの**山畠**があったと記されている。その後、消滅。

念仏碑や、庚申・地藏・観音等が数多く祀られているとのこと。

普通なら、通り過ぎるところだが、惹かれるものがあった。



～～山はみどり 野に花 人にはころろ～～

石畳を行くと、「めだかの学校」の歌詞。お地藏さん、そして、隙間から、雲海と再会。
先を急ぎすぎると、見過ごし、通り過ぎることになるが、早朝で心の余裕、運も良かった。
西行、芭蕉、先人は、何を見て、何を感じ、その一生も興味がある。

